

No.118
平成30年2月8日



議会だより

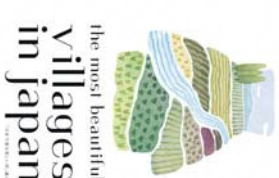
松崎

《主な内容》

第4回定例会（12月25日～12月26日）

- 一般会計補正予算 他……………2
- 町政を問う 一般質問に4議員……………4
- 議員研修報告（常任委員会視察・賀茂郡議員研修会）…9

「雲見海岸から望む富士山」



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

平成29年12月定例会

平成29年第4回定例会が12月25日、26日の2日間で開催されました。

今回の定例会では、一般会計補正予算など5議案を審議し、全て原案のとおり可決されました。

一般会計補正予算

補正予算(第6号)は、
 昨年の台風21号で被災した石部・雲見漁港の災害復旧事業費や保育所実施委託費、こども医療費助成などの増額、財政調整基金への積立などにより、

歳入歳出にそれぞれ1億5975万1千円を追加し、補正後の予算額を37億3353万6千円(4.5%増)とした。

問 地域おこし協力隊の費用が少し計上されている。11月頃に新たに2人採用したようだが、どんな活動をするのか。
答 企画観光課長 協力隊が活動するうえで不足となる旅費と車借上料を

計上した。新たに任命した隊員には、桜葉の栽培から商品開発など桜葉全般の振興事業と、石部の棚田保全事業をそれぞれ担当していただく。

問 寿乗車券利用助成67万円とこども医療費助成120万円の増額となった理由は。
答 健康福祉課長 10月までの月平均額がそれぞれ当初見込みより伸びていることから、3月末までの実績見込みに対し不足が見込まれる額を増額した。

問 火葬場運営費が約200万円増額されているが、どのような内容か。
答 窓口税務課長 火葬炉内部で耐火レンガの剥

離があったことから、この補修にかかる費用を負担金として計上した。

問 職員の時間外手当が増額されているが、対象はどのようなものか。
答 総務課長 台風などで気象警報が発令されると防災係の職員が庁舎に詰めるが、今年はその回数が多かったこと、今後また災害等があった時のための見込みも勘案し70万円を増額した。

介護保険特別会計

補正予算(第2号)は、介護サービスに係る申請件数増に伴う介護給付費の増額などにより、歳入歳出にそれぞれ1508万7千円を追加し、補正後の予算額を8億9904万円(1.7%増)とした。

町長の給料等を半減

◎松崎町長の給料等の特例に関する条例の制定

町長の給料は月額61万2千円と定められているが、これを5割減額し30万6千円とする特例条例を定めるもの。6月と12月に支給される期末手当についても、減額された給料月額を算定の基準とする。

平成30年1月分の給料から適用し、現町長の任期中に限り減額される。



12月定例会の様子

問 減額した分を福祉に使うというのだが、最初から半分しか支出しな

いということ、会計全体のなかで福祉に使うという根拠にはならないのではないか。

答 総務課長 実際にご理解いただきたい。の事業に充てたか非常にわかりにくい、制度上

問 この問題で町民と話をすると議員も半分にしたらどうか、職員の給料も減らした方がいいなどの意見がある。町長はどのように受け止めるか。
答 町長 議員の皆さんに追隨していただきたい、職員の給与を下げるとか一切考えていない。自分のことだからできることである。

問 この条例で退職金の取り扱いはどうなるのか。基本給が下がれば連動すると思われるが。
答 総務課長 町長が退職金まで半分にした意向であれば条例もそのようにするが、今回は給料と手当だけの減額となる。

人事案件

第3回臨時会

◎教育長の任命

佐藤勝徳氏の退任により不在となっていた教育長に、佐藤みつほ氏（桜田）を任命する人事案件について同意しました。任期は平成29年12月27日から平成31年12月17日まで（法令により前任者の残任期間）となります。

◎人権擁護委員候補者の推薦

平成30年3月31日で任期満了となる眞野集氏（南郷）について、再度候補者として法務大臣に推薦することに意見を求められ、適任である旨答申しました。

10月23日（月）、第3回臨時会が招集され、当局から提出された2件の議案を審議しました。また、

長嶋議員の辞職により欠員となっていた一部事務組合下田メデイカルセンター議会議員の選挙を行い、指名推薦により、佐藤作行議員が当選人に決定しました。

◎専決処分の承認を求めることについて（平成29年度松崎町一般会計補正予算（第4号））

衆議院議員総選挙執行経費として886万4千円を増額した補正予算を専決処分したものを。

◎平成29年度松崎町一般会計補正予算（第5号）

町議会議員補欠選挙執行経費として607万7千円を増額補正するもの。

第3回臨時会、第4回定例会賛否状況一覧

件名	議員							
	深澤守	伴高志	渡辺文彦	藤井要	福本栄一郎	佐藤作行	稲葉昭宏	
第3回臨時会	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度松崎町一般会計補正予算（第4号））	○	○	○	○	○	○	
	平成29年度松崎町一般会計補正予算（第5号）について	○	○	○	○	○	○	
第4回定例会	松崎町長の給料等の特例に関する条例の制定について	○	×	×	○	○	○	
	平成29年度松崎町一般会計補正予算（第6号）について	○	○	○	○	○	○	
	平成29年度松崎町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	
	教育委員会教育長の任命について	無記名投票の結果 任命に全員同意						
	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	

○：賛成 ×：反対

町政を問う

問

観光振興での活性化策は

答

長期滞在型観光などを推進



藤井 要 議員

問 選挙公約で農林水産業の一体推進による経済の活性化を掲げているが、観光振興についてはどのような計画で行うのか。

答 (町長)

町では平成24年度35万人であった観光交流客数を平成32年度には40万人に増加させる目標を立てている。観光客が増えることにより農漁業・商店・飲食業者への波及効果が生まれると考える。そのためには、旧依田邸や「道の駅」周辺の整

答 (町長)

各施設では、業者への営業、商品プランの企画、体験事業など誘客対策を行っているが実績に結びついていない。現状分析を徹底的に行い改善に向けた対策を実施する。

旧依田邸の管理運営については、現在策定中の道の駅パーク構想基本計画の中で協議していく。

問 少子高齢化の対策は

答 きめ細かな支援策で

問 我が町の人口は、ピーク時の1万3千人余から半数近くまで減少している。新生児30人が誕生しているが高校卒業後の転出等を引くと毎年150人余の人口減で推移している。町の将来を見据えての子育て支援、高齢者福祉対策の取り組みは何か。

答 (町長)

少子高齢化においては、出生数の減少と生産人口が減っていることが問題。

従来からの支援制度の拡充や、きめ細かい新たな支援策が必要と考える。手始めに出産祝い金の増額を行いたい。

問 松崎海岸の津波対策

答 今後も協議会で検討

問 防潮堤や水門の建設が町で議論された経緯があるが、いまだ結論が出ていない。10月下旬の台風21号では商店街に船が

押し上げられる被害も出たが、環境にも配慮した安心な町づくり構想は。

答 (町長)

松崎海岸については、避難対策や景観に配慮したまちづくりと一体となった対策を静岡県と地区協議会で検討している。いまだに結論が出ていない状況だが、避難路、避難タワー等の整備とともに避難訓練等のソフト対策を実施し、早く逃げる対策も行っていく。



対策が検討される防潮堤 (松崎海岸)



地域経済に貢献（伊豆まつぎ荘）



伴 高志 議員

問 ごみ処理場の共同化は

答 精査する必要がある

問 当局は1市2町の広域化に進もうとしているが、西伊豆町と2町で共同化を進めていくべきだと考えるがどうか。

答（町長）

これまで下田市・南伊豆町・松崎町の枠組みで協議されてきているが、メリットとしては、建設費、運転費、施設維持管理費の軽減、長時間運転によるダイオキシン発生抑制などがある。一方でデメリットとしては、運搬コストの増加、市町間の分別区分や収集形態の調整などが想定される。私は広域化により、いかに経費の削減や住民の利便性が図られるかなどを精査する必要があると考えており、今後、議会をはじめ関係者の方々と協議、検討していく。

問 防潮堤の嵩上げは

答 景観含めて検討中

問 松崎海岸防潮堤の嵩

上げを行うのか。

答（町長）

松崎海岸の津波対策については、静岡県と地区協議会で避難対策や景観まちづくりを含め検討中であり、11mの防潮堤の設置が決定しているわけではない。

防潮堤の整備だけでなく避難も含めた津波対策をする必要があり、今後とも海岸管理者である県とも、アンケート結果や地区協議会の意見を参考にして検討していく。

問 水門設置の影響は

答 上流部への影響なし

問 那賀川河口へ水門を

建設すると流水断面を狭くしてしまい、大雨の際など浸水の被害を増やしてしまうのでは。

答（町長）

河川に水門や橋を設置する場合は「河積阻害率」の基準があり、この率を必要最小限にとどめて計

画される。よって、橋脚前面に局所的に水の上昇が発生する可能性はあるが、水門設置による上流部への影響はないと考えている。

問 まつぎ荘の運営は

答 地域経済の活性化に

まつぎ荘の運営を、短期間で黒字にするために地元嫌われる宿舎にすべきではないと考えるがどうか。

答（町長）

まつぎ荘の経営状況は平成28年度決算において7期続いた赤字から黒字に転換した。地元雇用の拡大はもとより、地元仕入れへの貢献や観光の主導役として地域経済の活性化に多大な貢献をしていると認識している。今後とも町民に愛される施設としての役割を果たしていきたい。

問 目指す町の将来像は

答 町民満足度の高い町を



渡辺 文彦 議員

問 町長は議員時代、前町長の町政運営に批判的であったが、その理由は。また今後、町長として最も取り組みたい課題は何か。

答 (町長) 前町長の施策が総花的であり、あぶはち取らずになっていたと考えていた。

町政の進め方に濃淡があつてしかるべきであり、その方が町民の幸せにつながっていくと思う。私は町長として、町民

満足度の高い町を築きたい。そのために、農林水産観光業の一体推進による経済活性化を図り、町民の所得向上を目指す。

問 町を「再生」すると語り、そのために、最初の2年間で町再生の基盤を築きたいとしているが、どのようなことを考えているのか。

答 (町長) 最初の2年間で、私も含め役場の組織をきちっとした強い体制にシなく

てはならない。また、公約に掲げたことで、すぐできること、身近なことを実行していく期間としての意味もある。

問 人口減少対策は

答 町産業の一体推進で

問 町長は、町民の所得の向上を図り、町民の満足度を高めたいと言われているが、町の現状は仕事がなく、所得水準が低いこともあり若者の転出が進んでいると考える。この状況にいかに対応するつもりか。

答 (町長) 農林水産業と観光業の一体推進を図り、所得の向上を目指したい。

それを観光業について考えてみると、観光業は裾野の広い産業だ。適正な価格で喜ばれ、リピーターになつてもらえることを追求して所得の向上につながれたらと考え

る。時間はかかるが地道にやつていくしかない。また、農林業においては、桜葉産業を重点的に推進することで、雇用拡大、所得向上に結びつけることができると思う。

問 町民といかに向合う

答 町政懇談会も

問 町の再生には、町民の理解、協力が必要と考

えるが、いかなる対応をされるのか。

答 (町長)

まず、情報公開を徹底し、私の方針を町民にお伝えしたい。

広報まつぎやホームページの積極的な活用を図るとともに、各地区へ出向き、町民の声を聴く町政懇談会も行っていく。



所信を述べる長嶋町長



職員に訓示する町長



深澤 守 議員

問 町長と職員との役割は

答 町民のために働くこと

問 町長と職員が一生懸命町民のために働く組織とはどういう組織か。また、町長と職員の役割は。

答 (町長) 就任式で職員全員に前例踏襲、問題先送り、責任回避は許さないこと、上司・部下のけじめをしつかりつけることを話すとともに、町の職員がどのような町民に接するべきかも話をした。

職員も町長の命により働くことが住民の利益に繋がるものであることを理解してくれると感じている。町長と職員が一生懸命町民のために働くことにより、町民の所得が向上し、福祉の増進が図られ町民満足度の高い町が実現されるものと信じている。

問 経済振興について

答 総花的予算ではなく

問 産業育成のための積極的な投資や優遇措置が、

経済振興には必要では。

答 (町長)

人口減少対策において産業振興を図ることは重要であると認識している。そのため予算は総花的ではなく重点事業に集中した傾斜配分とすることが必要であると考える。松崎町の現状を分析し、課題解決のためにどのような分野にどのくらいの予算が必要なのかを平成30年度予算編成の中で検討していく。

民間活力を促進するうえからも事業支援が必要であり、これまで商工業者の経営安定化を図るための利子補給制度や産業・雇用創出、移住・定住促進を目的とする地域活性化事業支援補助、町内事業者の育成を図る住宅改修補助を実施してきたところだが、今後も積極的に取り組んでいる事業者などに対しては、町として支援していきたい。

問 商店街の活性化は

答 行政だけではなく

問 商店街の活性化について具体的な施策は。

答 (町長)

松崎町の特産品のブランド化や地域商業の景気対策としてのロマンシー、健康マルシェの開催や、街なかギャラリーとして町内工芸品作家の展示販売や海藻押し花展、コンサートなどが行われ、賑わい創出に寄与している。また、伊豆まつぎ荘や学校給食などの食材を地元調達したり、ふるさと納税返礼品においては、特産品を積極的に活用するなど産業振興を図っている。

商店街の活性化は、行政だけでなく商工会、観光協会、事業者等と連携し行っていかねければならないと考えている。

常任委員会視察研修

常任委員会では、10月18日から3日間、今後のまちづくりの参考とするため滋賀県長浜市・守山市及び京都府伊根町を視察しましたので、その概要を報告します。

ガラス文化の事業化で長浜再生

(滋賀県長浜市)

長浜市は、人口11万8千人程で滋賀県東北部に位置しています。平成22年に旧長浜市など1市6町が合併し現在の長浜市となりました。

円出資)で購入し、建造物の保存と中心市街地活性化を目的として昭和63年に第3セクター方式による株式会社黒壁が設立されました。

長浜市は商人の町として栄えましたが、昭和40年代頃より車社会の進展に伴う郊外型大型店の出店により中心市街地が急速に衰退していきました。

市の中心部には明治33年に建てられ、黒漆喰の外壁から黒壁銀行の愛称で親しまれていた建物があります。この建物を地元企業8社(9千万円出資)と長浜市(4千万



商店街の様子(長浜市)

それまで地場産業にも存在しなかったガラス事業を核とし、日本一のガラスの街を目指して平成

元年7月に黒壁スクエアをオープン。ガラス館とガラス工房、レストランの3店舗で営業を開始しました。1年目15万人、2年目20万人、3年目30万人と来場者が急増し、黒壁だけでは対応しきれず、街中に多くの人たちが溢れ出しました。

来場者数の増加に伴い施設の拡張が必要となり、近辺に多く残っている古い商家や町家、空き店舗を改修し、市外から出店者を呼び込み、物産館、ギャラリー、カフェ、レストラン、郷土料理店などオープンさせ、現在は30店舗まで増え、年間200万人以上の来場者で賑っています。これら建物の改修には、長浜市が観光パイロット事業として250万円を上限に助成を行っています。

琵琶湖一周サイクリングで観光振興

(滋賀県守山市)

守山市は、人口8万2千人程で滋賀県南西部に位置しています。東京オリンピックの自転競技会場が伊豆市の施設に決まったこともあり、自転車を活用して観光振興に取り組んでいる守山市を視察しました。

守山市は琵琶湖大橋の袂に位置する立地条件を活かし、琵琶湖一周サイクリング「ビワイチ」の拠点として「自転車を中心とした観光振興の取組み」を地方創生総合戦略の一つに位置付け、まちづくりに取り組んでいます。

琵琶湖周辺は平坦で女性でも走りやすく、歴史・文化・食など観光資源の宝庫でもあることから、瀬戸内のしまなみ海道の成功事例を徹底研究し、守山市をビワイチの起点とすることで観光振興と走行環境の整備に力を注

いでいます。

具体的には、世界最大の自転車メーカージャイアント社の誘致、市民への自転車購入補助金制度の新設、湖岸エリアにサイクリストの聖地碑設置などを短期間で実施してきました。また、観光客増加を目指し、バス会社と連携したJR京都駅からの直通バスの運行や、漁船を活用しサイクリストと自転車を運ぶ漁船タクシー事業にも取り組んでいます。



湖畔のコース案内版(守山市)

舟屋の保存で観光交流人口を拡大 (京都府伊根町)

伊根町は京都府北部、丹後半島の北端に位置する人口2200人余りの小さな町です。

伊根町伊根浦は、年間を通して海が穏やか、干満の差が少ない、漁業の利便、移動に船を利用など様々な条件が重なり、舟屋が形成されてきました。舟屋は1階が船のガレージ、2階が居室として使用され、約230軒が伊根湾を取り囲むように軒を連ねています。

平成4年に伊根漁業協同組合が実施した「舟屋保全に関する意向調査」で地元住民の8割以上が保存すべきとの意向であったことから平成5年以降、舟屋群保存検討委員会や研究会を立ち上げ、平成17年7月には舟屋などの建物432件を含む310ヘクタールが国の重要伝統的建造物群保存地区



伊根浦の舟屋群 (伊根町)

に選定されました。また、平成20年には伊根浦舟屋群、亀島区祭礼行事を地域資源として「日本で最も美しい村」連合へも加盟しました。

平成23年には景観行政団体へ移行し、景観条例や屋外広告物条例の制定により、これら地域資源の保全に努めながら、交流人口拡大による観光振興に取り組んでいます。

地域資源をいかに活用して 地方創生を実現するか

賀茂郡町議会議員研修会

11月16日、賀茂郡町議会議長会主催による賀茂郡町議会議員研修会が東伊豆町で開催されました。

当日は、賀茂郡内の町議会議員、事務局職員60名が集い、講師に合同会社フオーティR&C代表の水津陽子(すいづ ようこ)氏を招いて研修が行われました。

水津氏は、官公署や会計事務所等の勤務を経て経営コンサルタントとして開業。地域資源を活用した地域ブランドづくりや観光振興など地域活性化・まちづくりの企画コンサルティングなどを行っています。

講演では、私たちの地域資源が誰にとってどんな魅力があるのかを考え、来訪者を呼び込むためにはこれだけの地域資源があることを相手方に認識してもらわなければいけ

ないということ。その認知度を高めるためには情報接触度をあげることが重要であるが、その一つとして口コミの重要性を訴えていました。

具体的には、旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」から賀茂郡各町の観光地の口コミ件数などを例示し、口コミにより高い評価を得ることができることなど興味深く聴くことができました。



講演会場の様子

新議員紹介

平成29年12月3日に執行された町長選挙に併せ、町議会議員補欠選挙が行われ、深澤守氏(北区)が無投票で当選しました。



深澤 守 議員

議員としての抱負

「協働のまちづくり」
松崎町は地域経済の停滞、若年層の流出、少子高齢化社会など問題が山積んでいます。

諸問題を解決するには町民の皆様と行政の協働が求められています。皆様と行政の橋渡しになれるよう努力してまいります。

次の定例会は、3月6日(火)からの予定です。

議会のうごき

10月

- 6日 広報編集委員会
- 16日 広報編集委員会
賀茂郡町議会議長会議（南伊豆町）
- 17日 静岡県町村議会議長会定期総会（静岡市）
- 18～20日 総務常任委員会視察研修（滋賀県・京都府）
- 23日 第3回臨時会
- 26日 議会だより117号発行
- 31日 静岡県町村議会議長会議長県外視察（長野県）～11月2日まで

11月

- 8日 静岡県町議会広報研修会（静岡市）
- 13日 議会全員協議会
- 16日 賀茂郡町議会議員研修会（東伊豆町）
- 21日 賀茂郡町議会議長会視察研修（東京都）
- 22日 町村議会議長全国大会（東京都）

12月

- 8日 新議員研修会
伊豆縦貫自動車道天城峠道路・アクセス道路
要望活動（東京）
- 11日 西豆衛生プラント組合議会定例会
- 14日 伊豆縦貫自動車道天城峠道路・アクセス道路
要望活動（名古屋）
- 19日 議会運営委員会・広報編集委員会
- 25・26日 第4回定例会

表紙の写真「雲見海岸から望む富士山」は文化協会写真部より提供。

発行責任者

議長 土屋清武

編集委員長

藤井 要

編集委員

深澤 守
伴 高志
渡辺 文彦
福本 栄一郎
佐藤 作行
稲葉 昭宏

この人に聞きました⑮

松崎高校

女子ソフトテニス部

部長 影山 未来さん

副部長 菊地 凜さん



影山さん 菊地さん

町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回は、松崎高校女子ソフトテニス部の皆さんにお話を伺いました。

部活動の目標はなんですか。

私たち、女子ソフトテニス部は部員6人で、団体・個人共にインターハイ県大会出場を目指して日々練習に励んでいます。

町で情報不足だと思うことはありますか。

広報まっごきを読んでいます。同じ高校生などの記事が載っていると興味湧きますので、話題性のあるものを記事にした方が良いと思います。

商店街をより活性化させるために何をすればいいと思いますか。

夕陽の写真コンテストをSNSで募集しています。

した。学生などの間では、SNSでの情報取得が主流なので、もっとSNSを活用した情報発信をした方が良いと思います。

空いている店舗などを使って、松崎の特産品を使った新作お菓子の販売や、「ミニ「ピカ市」」のようなフリーマーケットなどを開催してみてもいいでしょうか。

（聞き手 編集委員長）

海鳴り

皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。本年も議会活動に全力で邁進しますので、変らぬご支援とご協力をお願いいたします。

今年の第4回定例会は、今後4年間の町政の舵取りを担う新町長の所信表明が行われることもあり、初日は議場内傍聴席は満席となった。町民の新町政に対する関心の高さを感じたところである。

所信表明では「町民満足度の高い町」を標榜し、「農林水産観光業の一体推進による経済活性化」、「防災減災対策」、「医療福祉の充実」の3つの柱を掲げ、業務に邁進することとしている。

これらがどのような事業内容で新年度予算に反映されてくるのか、議会としても内容を細かく検討し、町民の負託に応えていくべきと考える。

（議長）